

# 物品管理業務のデジタル化が 進まない理由



株式会社コンビベース

(東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町ビル8F)

- 2005年1月に親会社の株式会社ネットレックスにて、  
物品管理クラウドサービス「**Convi.BASE (コンビベース)**」の提供を開始
- 2023年11月に株式会社ネットレックスからConvi.BASEに関する事業を  
分割承継し、新設会社として株式会社コンビベースを発足
- Convi.BASEのほか、モノの管理に関する各種業務の**コンサルティング**、  
**アウトソーシングサービス**※等を提供

※アウトソーシングサービスはグループ会社の株式会社ネットレックス・フィールドサービスにて対応

# 物品管理業務のデジタル化が 進まない理由



## 物品管理業務がデジタル化する メリット

DX推進の機運の高まりによって、従来IT活用がなかなか進まなかつたバックオフィス業務にもその波が押し寄せています。

例えば…

経費管理

勤怠管理



1. 生産性の向上
2. コスト削減
3. 正確性の担保
4. 業務属人化の防止



経費管理

勤怠管理

物品管理

物品管理業務のデジタル化が  
進まないのはなぜか？

- 物品管理業務は、基本的には法律で規定された管理方法が存在しない
- 現状はどこの企業・組織も紙やExcel台帳などのアナログ管理を手探りで行っている

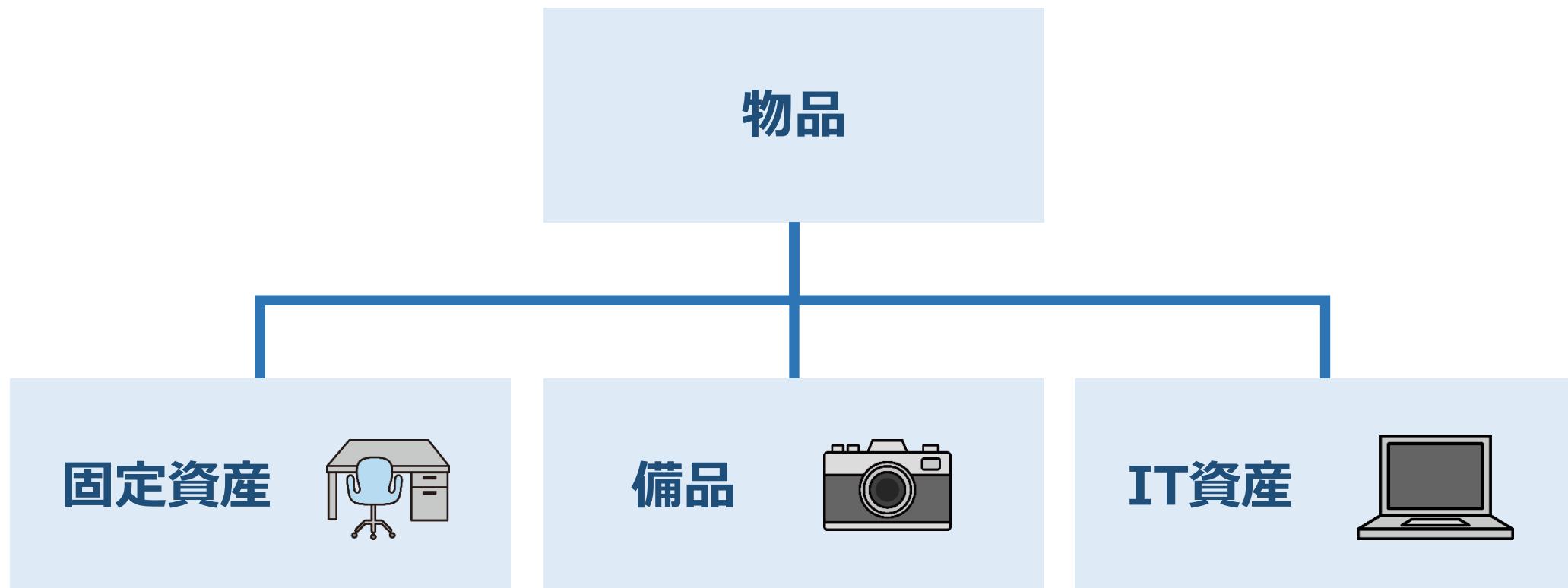
物品の共有

遊休資産の  
活用

棚卸し

これらを各社独自のルールで実施

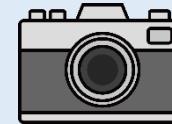
一口に「**物品**」と言ってもその内訳はさまざまだが、  
大きく分類すると、



## 固定資産



## 備品



## IT資産



## 経理部門

固定資産の償却管理

## 総務部門

固定資産の現物や備品管理

## 情報システム部門

PCや周辺機器の管理

## 固定資産



## 備品



## IT資産



## 文書



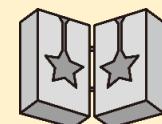
## 工具



## 計測器



## 金型・治具



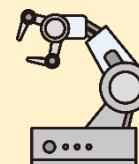
## 鍵



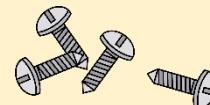
## 什器



## 設備機器



## 消耗品



## 防災備蓄品





営業部門



総務部門



開発部門



情報システム部門

管理対象によって管轄部門が分かれ、各々がExcelや目視で管理。

管理対象が多いと管轄する部門や拠点が増えるため、企業・組織内でも  
自ずと異なる管理体制になる。

台帳と現物の  
情報が合わない



1

不正利用や紛失が  
発生する



2

棚卸しに工数がかかる



3

別部門での二重購入



4

監査で指摘される



5

# 課題1：台帳と現物の情報が合わない

Before



1. 物品の設置場所や利用状況が記録されていない
2. 誰が、いつ、どの物品情報を更新したかわからない
3. 物品のメンテナンス漏れが発生する



After

物品管理テーブル 全資産の管理台帳です。											
基本情報			詳細情報			関連ファイル		詳細情報			
管理番号	資産名	資産種別	物品種別	建物	フロア	設置場所	管理部門	写真データ	取得年月日	取得価額	使用部
A0000001	ノートパソコン NRCB	固定資産	IT機器(パソコン)	東京本社	09F	オフィスベース	総務部		2023/10/01	¥1,000,000	総務部
A0000002	ノートパソコン NRCB	固定資産	IT機器(パソコン)	東京本社	09F	オフィスベース	総務部		2023/10/01	¥100,000	総務部
A0000003	ノートパソコン NRCB	固定資産	IT機器(パソコン)	東京本社	09F	オフィスベース	総務部		2023/10/01	¥100,000	総務部
A0000005	空調設備	固定資産	その他	東京本社	09F	オフィスベース	総務部		2022/07/01	¥2,870,000	総務部

1. 設置場所や利用状況などの物品に関する情報を一元化
2. ログインID単位で更新履歴を記録
3. 次回メンテナンス日を登録してアラート通知

# 課題2：不正利用や紛失が発生する

Before



1. 物品を勝手に持ち出されてしまう
2. 持出し記録を残しても返却されない



After



1. システムから発行したバーコード・QRコード付き管理ラベルをスマートフォンアプリでスキャンして貸出し記録

2. 返却日を超過したらアラート通知

## Before



1. 棚卸し準備が大変
2. 実査は担当者ごとに精度が異なり、ミスや不正が発生する
3. 結果集計の照合に時間がかかる



## After



The 'After' section illustrates a digital solution for inventory management. It shows a mobile application interface with two screens:

- Left Screen (物品一覧):** A list of items with their codes and descriptions. The items listed are:
  - 00000001 パソコン CF-NX2
  - 00000002 パソコン CF-NX2
  - 00000003 パソコン CF-NX2
  - 00000004 パソコン CF-NX2
  - 00000005 空調設備
  - 00000006 トヨタクラウド 品5 5な99
  - 00000007 トヨタカローワ 品5 5お99
  - 00000008 トヨタカローワ 品4 5お99
  - 00000009
- Right Screen (スキャン):** An interface for scanning barcodes. It shows a QR code and the item code "00000002 パソコン CF-NX2". The screen also displays "完了" (Completed), "スキャン" (Scan), and "スキャンタイプ 63/246 ライト ON".

1. システム上で棚卸しリストを作成
2. 実査はスマホアプリで棚卸しリストを受信し、バーコード・QRコード付き管理ラベルをスキャン
3. 棚卸し結果を送信して自動集計

## Before



1. 他部門・他拠点の管理状況が見えない
2. 遊休品が把握できず同じものを購入



## After



管理番号	資産名	建物	フロア	設置場所	管理部門	利用状況	写真データ
00000060	パソコンE HT-123	東京本社	01F	倉庫	総務部	遊休中	
00000061	パソコンE HT-123	東京本社	01F	倉庫	総務部	遊休中	
00000062	パソコンE HT-123	東京本社	01F	倉庫	総務部	遊休中	

1. 管理部門・管理拠点を登録して全社的に一括管理
2. 利用状況を記録して遊休一覧を表示

## Before



- 誰が、いつ、どの物品を棚卸したかの証跡がない
- 棚卸しの実施結果を提示できない



## After

### ■ 棚卸し実施状況

棚卸し実施状況です。

#### ▼ フィルター

◀ 保留中の結果を自動判定 ▶ 判定を変更 ✖ 削除 ✓ 棚卸しを完了 (1-65/65) ▾ ◀ ▶ ⌂

■	判定	突合結果	読み取り日付	読み取り担当者	読み取り端末	管理番号	資産名	利用状況	読み取り利用状況	建
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000001	パソコン CF-NX2	利用中	利用中	東
□	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000002	パソコン CF-NX2	利用中	利用中	大
□	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000003	パソコン CF-NX2	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000004	パソコン CF-NX2	利用中	利用中	東
□	保留	不一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000005	空調設備	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000006	トヨヌクラウソ品55な99	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:53	担当者A	iOS	00000007	トヨヌカラーワ品55お99	利用中	利用中	東
□	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000008	トヨヌカラーワ品44お99	遊休中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:53	担当者A	iOS	00000009	トヨヌカラーワ品44し99	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000010	トヨヌカラーワ品44た99	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000011	マシダファミリマ品55か99	利用中	利用中	東
□	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000012	応接セット	利用中	利用中	東

- システムを通して棚卸しすることで、いつ、誰が、どの物品を棚卸したかを自動で記録
- 棚卸し結果を出力して対応資料として提出

- ① 物品情報を一元化できる
- ② 適正な物品利用ができる
- ③ 効率的かつ高精度な棚卸しができる
- ④ 全社的な管理で社内物品を見える化できる
- ⑤ 監査対応時に証跡を提示できる



2005年1月に提供開始したあらゆるモノの管理を支援する物品管理クラウドサービスです。

「面倒な棚卸しを楽にしたい」「物品の紛失が発生している」など、管理対象を問わず、あらゆる物品管理の「困った」を解決します。

導入社数は1,100社を超え、物品管理システムとして**導入実績No.1**※になりました。

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ [調査概要 : 2023年2月期\_実績調査]

**NISSAN  
MOTOR CORPORATION**

**日産自動車株式会社 様**

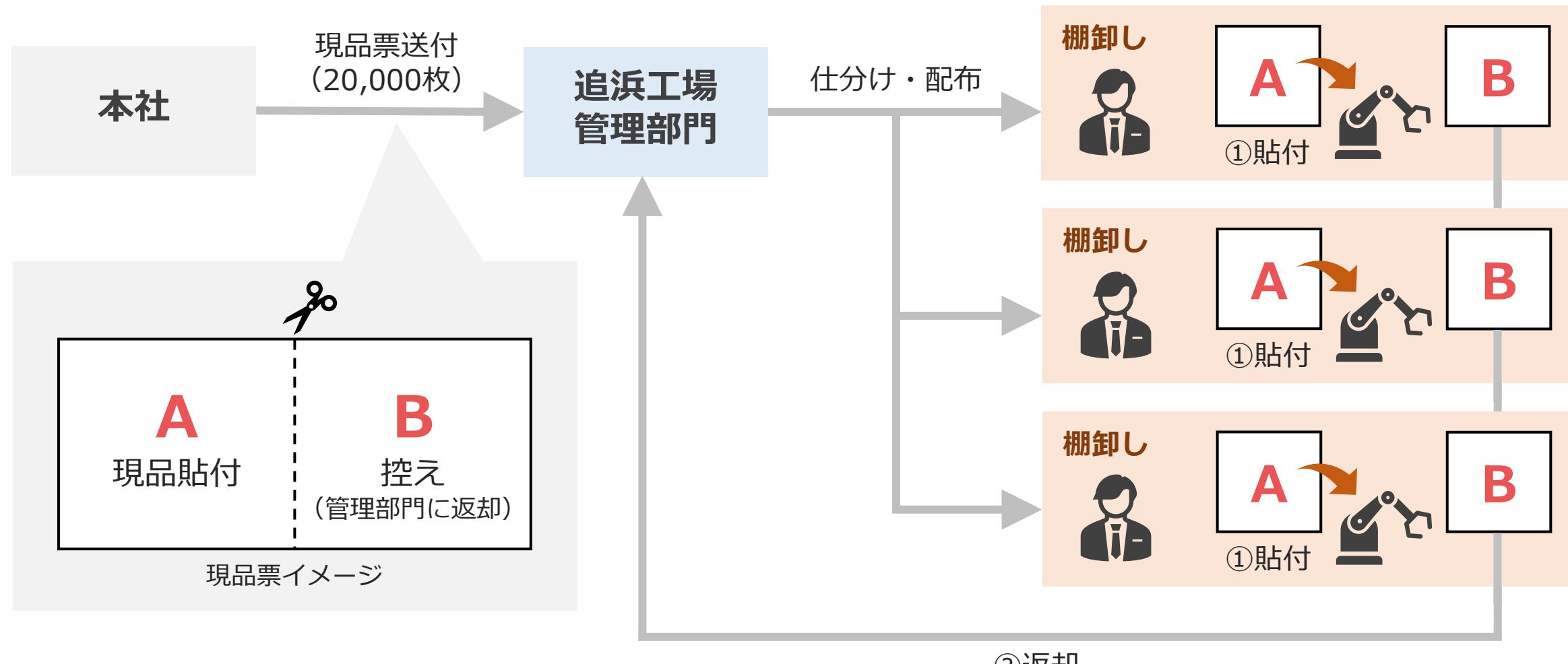
## ＜物品管理システム導入前の課題＞

固定資産約20,000点のデータ管理ができておらず、**アナログな棚卸しに苦労**していた。管理精度向上を図るべく**全棚卸し結果の可視化**をしたいと考え、デジタル化を検討。棚卸しを実施する各担当部門の工数削減も期待。

導入事例インタビュー記事はこちら

<https://convibase.jp/result/nissan>

## アナログな固定資産棚卸し



## アナログな固定資産棚卸し

### ＜アナログならではの課題＞

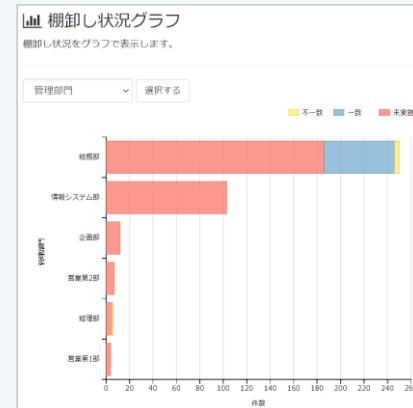
- ・ 現品票の仕分けと配布に手間がかかる
- ・ 各現場での現品票の貼り換えに膨大な工数がかかる
- ・ 現品票の控えが戻るまで棚卸しの状況が見えない
- ・ 現物が実際にあるかどうかが把握しづらい

## システム導入による効果

現品票を廃止し、読み取るだけの棚卸しに変わって棚卸し工数が**1/4**に減少した。



棚卸しの進捗状況を可視化できるようになり、いつ棚卸しされたか把握できるようになった。



写真を登録できるため、初めて棚卸しする人でも対応できるようになった。



「最初は大変だが導入後2年目からは必ず効率的になる」と社内説明したため、混乱も反対もなくスムーズに導入できた。現場からは「楽になった」「なぜもっと早くやらなかつたのか」と言われるほど好評です。

DXを推進するために、自社の状況や体制を俯瞰的な視点から把握する必要があります。

物品管理業務をデジタル化したいがやり方がわからない場合、運用のための仕組みやルールづくりのコンサルティングや、ラベルの貼付代行、定期的棚卸しの代行といったアウトソーシングの支援まで、個々のニーズに応じて一気通貫したサポートが可能です。

## 課題の把握・整理 (コンサルティング)

## デジタル化 (Convi.BASE導入)

## 棚卸し代行 (アウトソーシング)



## 物品管理業務がデジタル化しないのは、法律で規定された管理方法が存在しないから。

- ・ どこの企業・組織も紙やExcel台帳などのアナログ管理を手探りで行うしかない。
- ・ 管理対象が多いと管轄する部門や拠点が増えるため、企業・組織内でも異なる管理体制になる。

アナログ管理を続けると、

- ① 台帳と現物の情報が合わない
- ② 不正利用や紛失が発生する
- ③ 棚卸しに工数がかかる
- ④ 別部門での二重購入
- ⑤ 監査で指摘される



デジタル化（システム導入）すると、

- ① 物品情報を一元化できる
- ② 適正な物品利用ができる
- ③ 効率的かつ高精度な棚卸しができる
- ④ 全社的な管理で社内物品見える化できる
- ⑤ 監査対応時に証跡を提示できる



お問い合わせ

株式会社コンビベース  
営業部 マーケティンググループ



03-5643-6743



cb-info@convibase.co.jp